

クラウス・マケラ指揮 オスロ・フィルハーモニー管弦楽団 辻井伸行(ピアノ)

2023年

10/21(土) 14:00開演(13:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

ショスタコーヴィチ:祝典序曲

ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第2番

[ピアノ:辻井伸行]

R.シュトラウス:交響詩《英雄の生涯》

20代でオスロ・フィル、パリ管、
コンサートへボウ管のシェフに指名された
天才指揮者クラウス・マケラ
手兵オスロ・フィルと待望の来日

Klaus Mäkelä, Oslo Philharmonic; ©Marco Borggreve / Nobuyuki Tsujii; ©Yuji Hori



チケット料金(全席指定・税込) **S** 26,000円 **A** 22,000円 **B** 18,000円 **C** ~~14,000円~~ **D** ~~9,000円~~ **U25** ~~3,000円~~

- ◆ 東海テレビチケットセンター 052-951-9104 (平日10:00~18:00)
<https://tokai-tv.com> 東海テレビイベント 検索
- ◆ クラシック名古屋 052-678-5310
- ◆ アイ・チケット 0570-00-5310 アイ・チケットweb 検索
<https://clanago.com/i-ticket>
- ◆ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード235-719)
- ◆ ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード40103)
- ◆ イープラス <https://eplus.jp/>
- ◆ 芸文プレイガイド 052-972-0430
- ◆ 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
- ◆ Boo-Wooチケット <https://l-tike.com/bw-ticket/>

※チケットはお一人様4枚までとさせていただきます。※U25はクラシック名古屋(電話)のみ取扱い。公演当日25歳以下、来場時に年齢確認有り。お一人様1枚限りです。※車椅子でご来場されるお客様はご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。※やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順などが変更になる場合がございます。その場合もチケットの払い戻しは承れません。ご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

公演の情報はこちら ▶



第27回 スーパークラシックコンサート



お問合せ 東海テレビ放送 事業部
052-954-1107 (平日10:00~18:00)

辻井伸行オフィシャル・エアライン: ANA

クラウド・マケラは本当に特別な存在だ! — タイム誌

クラウド・マケラの多彩な指揮によって
オーケストラは統一感を失うことなく
高い精神性で聴衆を魅了した。それは驚異的体验であった。
その場にいた者は決して忘れることはないだろう。

—— 南ドイツ新聞

マケラのシベリウスは衝撃的な勝利だ!
こんなシベリウスの登場を誰が予想しただろうか?

—— BBCミュージック・マガジン

音楽的エネルギーの源はリズムとアーティキュレーション、
そして必然的な推進力からくるものであり、
マケラはそれを完璧にマスターしている。
極めて有望なデビュー作だ!

—— グラモフォン誌

マケラの魅力は生演奏でいかに発揮される。
魅力的な飛翔と明確な彼の指揮によって、
オーケストラは自然に歌い、最上の表現をする。

—— エル・エスパニョール

©Marco Borggreve

世界を駆け巡るマケラ・ショック



1996年フィンランド生まれ。12歳からシベリウス・アカデミーにてチェロと指揮を学ぶ。若くしてスウェーデン放送交響楽団の首席客演指揮者に就任したほか、これまでにフィンランド放送響、ヘルシンキ・フィル、ロンドン・フィル、ミュンヘン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、クリーヴランド管など、欧米の一流オーケストラとの共演で高い評価を獲得し「数十年に一度の天才指揮者の登場」とも評される大成功を収める。2020/21年のシーズンから、24歳でオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任し、翌年のシーズンからはオスロ・フィルに加えて、パリ管弦楽団の音楽監督にも就任。歴史あるオーケストラにおける20代の音楽監督の誕生は鮮烈なニュースとして世界を駆け巡った。また、2022年6月、オランダのロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団が2027年のシーズンから首席指揮者にクラウド・マケラを指名したことを発表。名門オーケストラが立て続けに20代の若手指揮者を自らのシェフに指名したことで、さながら“マケラ・ショック”とも呼べるほどの衝撃を世界のクラシック界に巻き起こしている。

ノルウェーの首都オスロを拠点に世界的な活躍を繰り返す北欧の名門オーケストラのひとつ。エドヴァルド・グリーグらが設立したクリスティアン音楽協会の流れを汲み、1919年に創設。歴代の音楽監督にはヘルベルト・ブロムシュテット、マリス・ヤンソンス、アンドレ・プレヴィン、ユッカ=ペッカ・サラステなどの一流指揮者が名を連ねており、なかでも1979年から2002年までの23年間にわたり首席指揮者を務めたマリス・ヤンソンスとはEMIレーベルに数多くのレコーディングを行い、そのクオリティの高さと充実ぶりを世界中の音楽ファンに知らしめたほか、1988年の初来日以来3度の日本ツアーを成功させている。2013/14年のシーズンからはヴァシリー・ペトレンコが首席指揮者を務め、2020/21年のシーズンからは若手フィンランド人指揮者クラウド・マケラが就任。2022年にはマケラのCDデビュー作となるシベリウスの交響曲全集をデッカ・レーベルからリリースし世界中で極めて高い評価を得ている。今回のマケラとの日本ツアーは2014年にヴァシリー・ペトレンコと来日して以来、9年ぶりの来日公演となる。

2009年「第13回 ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」で日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。2011年、ニューヨーク、カーネギーホール主催のリサイタルで驚異的な大成功を収め、以後定期的に同ホール主催公演に招聘されているほか、ロンドン、ウィーン、パリ、ミラノなど、世界の主要都市でのリサイタルやオーケストラとの共演はいずれも高い評価を受け、欧米の主要コンサートホールや主催者からの出演依頼が数多く寄せられている。また、著名な指揮者や世界的オーケストラからも高く評価されており、ユロフスキ指揮ロンドン・フィル、ケント・ナガノ指揮ハンブルク・フィルなど、著名オーケストラの日本ツアーのソリストに数多く抜擢されているほか、欧米の一流オーケストラの定期公演にもたびたび招聘されている。2023年以降もニューヨーク、カーネギーホールの主催公演、ロンドン公演、パリのシャンゼリゼ劇場における公演をはじめ、世界の主要都市でのリサイタルや世界的オーケストラとの共演が数多く予定されており、日本を代表するピアニストとしてさらなる飛躍が期待されている。